

を振り返って・・・!!

道敷設1400年通信」 vol.11



竹内街道・横大路（大道）1400年の取り組み

昨年（2013年）は、日本最古の官道である竹内街道・横大路（大道）が敷設されて1400年の節目の年でありました。これを契機として、「歴史・文化を中心に竹内街道を盛り上げ、地域活性化につながれば・・・」と、府県の枠を超えて12の自治体（大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）が一体となり、産学民と連携・協力しながら竹内街道・横大路（大道）とその周辺地域の魅力を再発掘し街道を盛り上げました。

また、本町でも、「太子町竹内街道1400年実行委員会」が立ち上がり、1年を通じてイベントなどで竹内街道を盛り上げるとともに、町内外への情報の発信にも大きく貢献されました。



11月17日(日)、難波宮跡公園などで行われた「1400年祭」には、寒い中約1万人の人が訪れてくれました。夕方の「大道燈火会」では、少し雨が降っていましたが竹内街道・横大路（大道）沿道自治体を象徴した12のイルミネーションが1500年に向け、力強く輝かしい消えることのない灯りを放ちました。まさしく「共同宣言」どおり、この取り組みが継続していくことを確認した瞬間でした。



◀共同宣言



敷設1400年のフィナーレにふさわしいイベントでしたね。共同宣言で『次の100年に向けて広域的に様々な取り組みを進めていく』とあったように、これからも継続した取り組みを期待していますね。



▲大道燈火会

わかりました。頑張って取り組んでいきます。

それはそうと、たいしくん、今月のタイトルが「敷設1400年を振り返って」ということで、本町の竹内街道1400年実行委員会が企画・行った取り組みを紹介していきましょう。



本当ですね。ほくも2月に「竹内街道1400年PR大使」に任命されたこともあって、参加した実行委員会の企画イベントには相当の思い入れがあります。



たいしくんも知っているとおり、実行委員会は、町のまちづくり団体で構成（14団体）され、日頃から地域の活性化に取り組まれていることもあり、そのノウハウで大きな力添えを頂きました。「のぼり」や「横断幕」での竹内街道の情報発信、これにより町全体が竹内街道一色になったと住民の皆さんからもよく聞きました。

4月には、太子聖燈会で実行委員会オープニングイベントとして、お隣の葛城市けはや相撲甚句会を招き「竹内街道相撲甚句」を披露され、華やかなスタートを切って頂きました。

「竹内街道敷設1400年」

かつみんとたいしくんの「竹内街」

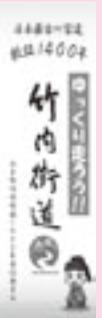
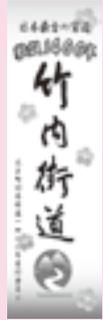
▼太子町竹内街道 1400 年実行委員会



▲けはや相撲甚句



▲実行委員会法被



横断幕・のぼり



そうでしたね。春先の雨の肌寒い中、多くの人の相撲甚句の力強い声への大きな拍手が印象的でしたね。また、実行委員会の法被も雨を吹き飛ばす情熱的な赤色がとても印象的でしたよ。

実行委員会では、その他にも画期的なイベント企画をされました。「時代行列」、「リレーウォークでのおもてなし」、「ふるさと再発見絵画コンクール」です。特に、時代行列は、太子町では初めてのイベントで、しかも他の市町村で行われている時代行列とは大きく違う実行委員会独自の仕掛けがあったんですよ。



それは、かつみんも進めている「住民協働のまちづくり」にも関係があるんですよ。時代行列の古代衣装や小道具は、住民の皆さんの手作り、参加者も住民の皆さんでしたよね。

▼古代衣装制作ボランティアの皆さん



時代行列▶



当日は、灯路祭りもあり約5,200人の人が楽しめました。その日に行われたリレーウォークでも約300人に“おもてなし”ができ、竹内街道はもとより、太子町を皆さんに知って頂いた大きな一日でした。今年も、竹内街道をとおして醸成されてきた町への愛着や、まちづくりの機運などが萎んでしまわないよう、しっかりと継続して取り組んでいくことを約束します。と云いながら節目の1400年が1年過ぎたということで、私たちの1400年通信は、今月で皆さんとしばらくお別れです……。



リレーウォーク おもてなし▶



え～！かつみんとぼくの1400年通信を楽しみにしている人もいるのに～！



▲ふるさと再発見絵画コンクール表彰式



もちろんです～！1400年通信ファンの皆さん、次回会う日をお楽しみに！

皆さんにお伝えしたいことがあればまた登場します。その時は、たいしくんも協力してくださいね。

